

核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議
(通称)核燃・だまっちゃおられん津軽の会

第8回 市民講座

再処理工場の完工は17回も延び、当初の予定より10年以上遅れています。建設費用は、予定の3倍近くの約2兆2000億円に達しています。高レベル放射性廃液を「ガラス固化」する方法で処理する過程でトラブルが続発し、解決の見通しが立っていません。

核燃サイクルの技術は、科学技術の最先端で、専門家でなければわからないとされています。アクティヴ試験が失敗し続けても、巨額の予算がつぎ込まれても、わたしたち市民は、はらはらしながら見ていることしかできないのでしょうか？

講師の松山圭子先生は、医療や薬を扱った報道を題材に、科学知識が社会の中でどのように流通し、生活の中で使われている知識との間でどのような関係が作られているかを研究する、科学技術社会論が専門です。風力発電を進めているNPOグ



テーマ「市民発科学技術政策は可能か？」

講師 青森公立大学教授

とき：11月12日（木）午後6時～8時

ところ：津軽保健生協本部2階ホール

参加費無料

◇どなたでもお気軽にご参加ください

主催：核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議

核燃・だまっちゃおられん津軽の会(通称)

連絡先：竹浪純 080-5229-6076

